

主要建設会社45社 14年度の決算分析

選別受注で増益を目指す

建設経済研究所

建設経済研究所は、主要建設会社45社の14年度の決算分析をまとめた。13年度に引き続き受注・売上・利益が悪化しており、特に公共工事削減の影響から土木工事の受注高の落ち込みが大きい。一方、今後については、選別受注を強化すること、減収増益を目標とする企業が増えている。

11・14年度の単体の平均売上高により、9000億円超を「大手」(鹿島など5社)、25000億円超を「中堅」(鹿島など5社)、25000億円以下を「小企業」(鹿島など5社)と分類。その上で各分類ごとの受注高や売上高、利益、販管費などを分析している。

【営業利益・経常利益】 対売上高比率は昭和58年度以来最低。営業利益で4社、経常利益で6社が赤字となった。また販管費の削減が追い付かず、Aの減少幅が目立つ。

【当期純利益】 赤字企業は45社中23社。前年度比減は26社。金融支援を受けた企業や今後受注を前年と同等と見込める企業、大幅な特別損失を計上しており、バランスシートの調整を大規模に実施することが自力では不可能なレベル。また、来期はすべてのグループが黒字を見込むが、減損会計への対応や不良債権処理などが発生する可能性は高く、目標達成のハードルは高い。

【有利子負債】 対売上比率が40%以上の企業は45社中19社。依然として高水準で、引き続き削減を進める必要がある。準大手Aの額・対売上比率の増加が目立つ。

【自己資本比率】 自己資本比率が5%未満の企業は45社中10社のみ。企業は45社中10社のみ。全グループが前年度比減。45社計の売上高は昭和63年度の水増し、ピークを過ぎ、対売上比率も高い。

【販管費】 全グループが減少したが、勝ち組と言われる準大手Aは、他のグループより削減のスピードが遅く、対売上比率も高い。

【自己資本比率】 自己資本比率が5%未満の企業は45社中10社のみ。企業は45社中10社のみ。全グループが前年度比減。45社計の売上高は昭和63年度の水増し、ピークを過ぎ、対売上比率も高い。

【当期純利益】 赤字企業は45社中23社。前年度比減は26社。金融支援を受けた企業や今後受注を前年と同等と見込める企業、大幅な特別損失を計上しており、バランスシートの調整を大規模に実施することが自力では不可能なレベル。また、来期はすべてのグループが黒字を見込むが、減損会計への対応や不良債権処理などが発生する可能性は高く、目標達成のハードルは高い。

【有利子負債】 対売上比率が40%以上の企業は45社中19社。依然として高水準で、引き続き削減を進める必要がある。準大手Aの額・対売上比率の増加が目立つ。

【自己資本比率】 自己資本比率が5%未満の企業は45社中10社のみ。企業は45社中10社のみ。全グループが前年度比減。45社計の売上高は昭和63年度の水増し、ピークを過ぎ、対売上比率も高い。

JIA設計者選定法推進会議

入札による設計者選定の廃止を目指し、日本建築家協会(JIA)の「設計者選定法推進会議」(委員長・小倉善明副会長)が本格的に動き出した。小倉会長は10日の会見で「目的を達成するためには、建築・土木のくくりにとらわれない関連団体との幅広い連携が必要」と話し、近く建設コンサルタンツ協会(日本)

入札による選定廃止を

建コン協等にも呼びかけ

JIAは従来から、入札による設計者選定には反対の立場で、コンペ方式や資質評価(QBS)方式の積極的な採用を発注者に働きかけてきた。ここにきて、JIAと日本建築士連合会、日本建築事務所協会連合会、日本建築学会などで構成する建築関係団体

マンション管理士試験 9月8日から受付け

国土交通省は、15年度のマンション管理士試験のスケジュールなどを発表した。8月25日から受験案内書を配布し、9月8日から30日に申し込みを受け付ける。試験日は11月30日。出題範囲は6月1日に施行した改正区分所有法、マンション建替円滑化法などに関する事項。試験会場については、福岡市などを予定。申し込み状況に合わせて会場を設定する。ちなみに14年度は全国41会場で行った。問い合わせなどは、マンション管理センター(各支部を含む)と都道府県、政令指定都市で配

16日から受付け

日本生態系協会

7回目を迎える。学識経験者を中心に構成されるバイオトープ管理士資格試験実施委員会のもと、(財)日本生態系協会が試験を実施し、その評価をもつて同協会が認定する。管理士には地域の自然生態系の保護・保全、復元、創出の理念や野生生物等の調査技術を踏まえた広域的な地域計画(都市計画、農村計画など)のプランナーである「バイオトープ計画管理士」、同じく設計・施工に携わる技術者の「同施工管理士」の2部門があり、それぞれ

17日、内村さんに表彰状

国土交通省は毎年6月を「土砂災害防止月間」と定め、各都道府県の協力のもと、その一環として次代を担う小中学校・高等学校を対象に絵画、ポスター、作文を募集、表彰している。本県から

きょうの天気

地方	天気	風	降水確率
薩摩	雨所雷伴う曇り	南西のち西	20%
大隅	雨所雷伴う曇り	南西のち西	30%
種子	雨所雷伴う曇り	南西のち西	50%
久米	雨所雷伴う曇り	南西のち西	20%
奄美	雨所雷伴う曇り	南西のち西	70%

降水確率：上段6時～12時、下段12時～18時

週間天気予報

鹿児島・種子・屋久地方	奄美地方
日	日
14 土	14 土
15 日	15 日
16 月	16 月
17 火	17 火
18 水	18 水

《概況》向こう一週間は、低気圧や前線の影響で曇りや雨の降る日が多い。

行政動静 6月13日(金)

【県庁】	知事……………在庁
副知事……………在庁	土木部長……………午前
庁外、午後在庁	【鹿児島市】
市長……………市内	木村助役……………市内
【鹿児島国道事務所】	所長……………在庁
後田副所長……………庁外	

喜多川副所長……………庁外
【川内河川事務所】
所長……………在庁
【大隅河川国道事務所】
所長……………庁外
【鹿児島港湾・空港整備事務所】
所長……………在庁
【志布志港湾事務所】
所長……………在庁
【日本道路公団鹿児島工事事務所】
所長……………庁外
※予定が変更になることがありますので、ご了承ください。